

だいいょうぶ通信

2017. 6. 16 Vol. 231

岡山県立大学
けんきょ通信隊
代表 金子裕里
Tel・Fax
(082)548-2169

子育てオアシス
0/23のほりまろ
セロリ

0123オの
子どもたち
あそびに
きてね



日時

場所

広島市中区
西白島町24-36

7月の予定

7月7日(金) 時間内出入り自由 6無料

& 21日(金) 申込み不要

10:00 ~ 13:30

中央公民館3階
Tel (082) 221-5943

オアシスでお楽しみ
お子さんから目を離さないでください
ランチタイムはおほろ(11:30-12:30)
お弁当を持って来て一緒に食べよう
おかし持参はご遠慮ください
後片づけにご協力ください





長男が中学生になって2ヶ月。小学校では6年間を2クラスで過ごしてきて、中学校で一気に6クラスの大人数になった。のほほんと6年間を過

ごしてきた状況に、中学校に行ったら今までのようには、いけないと散々言われてきた。考え方の違いにも戸惑うだろう、とも。偏りがないように、同じ出身校の生徒は均等に分けられ、マンモス校出身の子たちの中で少数派になった。でも、蓋を開けてみれば、長男は中学校に慣れるのが異様に早かった。周りが全然楽しくなかったと言っていた野外活動も楽しかった！と興奮して帰って来た。“知らない人がたくさんいる時に泊まるって、絶対良いよ。仲間が増えるもんね！”と言う長男に、この子、私とは全然違うタイプだなあと、しみじみ思った。

でも、気になることもある。家で人の悪口を言うようになった。人と同じであることに拘り、人と違う(持ち物や行動)些細なことを気にするようになった。そしてルールは絶対に正しいと思っている。私はそれに反発して、長男に投げかける。“それは本当に正しいと思ってる？”“それ本当に自分の意見なの？人の影響受けてない？”完全に私の勝手な思いだけど、つまらない子になったものだとイライラしていた。そんな時、「お母さんのいう事、長男くんはよく分かっていると思うよ。でも不安なんだよ。」と友達ママに言われた。やけに腑に落ちた。皆と足並みを揃えようと頑張っているのかもしれない。いつの間にか、素直に心の全部を教えてくれる年ではなくなった。“面倒だな、でも思春期になったら話もしてくれないらしいし、聞いておくか。”ここ数年そう思って長男のどうでも良い話も聞いてきたけど、もうとっくに思春期だった、そういうことなのです。

ムスメ11歳・ムスコら6歳

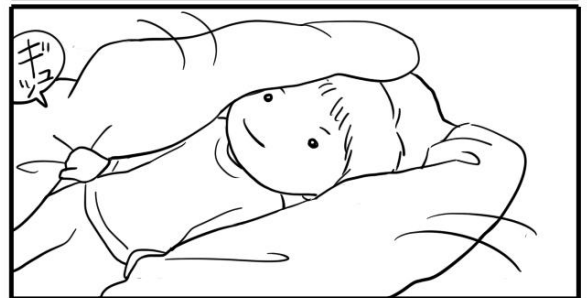
育児真ん中も89スギヤマ ナツキ

先日、島根県の津和野まで日帰り小旅行をしてきました。絵本作家の安野光雅美術館を訪れたり、1000本鳥居で有名という太鼓谷神社をお参りしたり。でも、子ども達に一番ヒットしたのは通りの堀を泳いでいる鯉の餌やり。まあ想定内でしたけれどね〜)ご飯もご当地名物ではなくカレーとうどんだったし。まだもう少し「大人のこだわり≦子どもの楽しさ」のバランスで進みそうです。

帰りの列車内のこと。座席で、ゆーちゃんが抱っこ状態で、しょーちゃんが私の膝に頭を預けて、寝てしまいました。ちょっと見ずごく大変そうだったのですが、実はこの時、すごくすごく幸せを感じていたのでした。最後に抱っこで寝かしつけたのはいつだっただろう。久しぶりにこんなにくっついて寝むる双子に寄り添えて、嬉しいなあ〜幸せだなあ〜という気持ちでいっぱいでした。思えば赤ん坊の頃でも双子だからというのを言い訳に、ハウナーに頼りまくりで「抱っこで寝かしつけ」をあまりしなかったような気が…。もう6歳。こんな風に私にすがって眠ることも少なくなるんだらうな。もしかしてこれが最終かも？そう考えると、今回の旅で私が一番よかったのは、二人が私にすがりついて寝てくれたことかも。名所名物関係なし？似た者親子なのでした(笑)



この間の朝の出来事



まことに
ありがとう
ございます

たかばやし はるえ



息子のまことは5歳です。子どもを連れて歩くようになって、近所の人との触れ合いが格段に増えました。道や店、公園でいろいろな人に声をかけられたり、助けてもらったり、同じくらいの年の子どもを連れて人とも自然と親しくなりました。私は子どもの頃はとても引っ込み思案で、人と話すのも苦手だったのですが、

母親になって、子どもの友達づくりのためにも、そして子どもの安全のためにも、近所に知り合いを作るのはとても大切だなと、最近実感しています。

ある日幼稚園の後、まことと公園で遊んでいると、向かいの家の4月から小学生になった男の子が一人でやってきて、「家に帰ったけど誰もおらんかった。鍵が開いてなかった」と言い、一人で遊び始めました。お母さんは仕事をしていて、あとから聞くと、その日はおばあちゃんが忘れて出かけていたそうです。私はお母さんにメールして、お母さんが来るまで一緒にいたのですが、まことは家に誰もいなければ家の前でずーっと泣いているようなタイプなので、むしろ安心なのですが、その男の子はとっても行動的で、一人で公園に来るし、突然友達を追って向こうの方に行ったり、お母さんの会社の方行ってみるといって走って行ったり、行動的過ぎて逆に怖いな～と思いました。車も危ないし、お母さん遅いとか言ってまた一人でどこかへ行けばお母さんと行き違いになるし…。この時、もしまことが一人でいても、近所に知り合いがいれば助けてもらえる！と思ったのです。以前公園の不審者を通報した時、警察の方が、「子どもを守るのが近所の大人の役目」と言われたのを胸に刻んでいます。自分の子どもだけではなく、子どもは社会みんなで守りましょう！

初孫1才3ヶ月。保育園に行くようになって会わなくなったせいか、こないだ会いに行ったら泣かれた(-_-)「この人見たことあるぞ」って顔で見つめられるけど、手を出すと泣く泣く。娘にしがみつく。結局遠くから眺めただけだった。まあ娘との愛着がしっかりできて安心ですわ～。はやく、あたしが敵ではないとわかってほしいものです。

それにしても、世の中便利になり、LINE で映像がいつでも送られてきて見ることができる。昔はいちいちビデオカメラで撮ってたけどね～。それらのビデオも今や見れず、いつかDVDに写そうと思うが、いつのことやら(°▽°)

3才5ヶ月ころ3才児健診の案内が送られてきますが、おうちで視力検査の練習がうまくできなかった経験ないですか。『C』のマークをランドルト環といいますが、練習用の紙を大きくコピーして、厚紙に貼って切り、「運転手さんになってください～い」と持たせて「同じのして～」と見せるとやりやすいです。

※オープンスペースに見本とコピーした紙を置いておくのでいる方はどうぞ★

さわB～さんの
育孫日誌

(▽)

その4

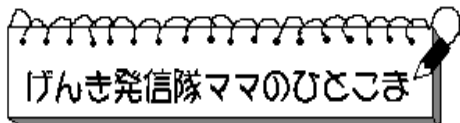


私は1年生の時に、早く子どもたちと遊んだりして関わっていく経験をしたと思い、ぶんこを知って月に1回は子どもたちと関わることができるのでぶんこに入りました。初めは子どもたちと遊んだりすることができて楽しい経験が出来たり、自分は子どもが好きなんだと実感することが出来てぶんこに入って良かったと思っていました。2・3年生、毎

回のぶんこに参加して、授業で学んだことを生かして子どもと関わることが出来たり、実際に子どもの姿を見て本当にそうなんだと分かりました。また、子どもたちに関わることでできる機会が増えたことで自分自身の経験にもなり、保護者の方とお話し、色々なことを聞くことができるのもぶんこならではの良さだと思います。

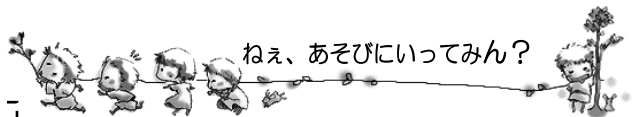
今後は残り少ないですが1回1回を大切に、学んだことを生かして子どもと触れ合い、いろいろな子どもの姿を見ていきたいです！子どもがぶんこに来て楽しんで遊んで過ごせるように私も一緒になって遊んだり、もっと保護者の方とお話したりしたいです。（高口 夏実）

♥ぶんこ（パパママ応援団ぶんこ）は、広島文教女子大学の学生が活動する子育てを応援するグループです。活動を通して感じたことイロイロを書いてもらってます。♥



先日、子育て支援の記念イベントのために久しぶりに東京に行きました。どこに行っても用事が済めば観光などせず、とんぼ返りですぐ帰ってくる私ですが、今回はたまたまスカイツリーのすぐ近くに泊まったので、新幹線の時間まで東京ソラマチをウロウロしてみました。

スカイツリーの登り口まで入ってみたものの、料金が予想以上に高く同じ料金なら隣の“すみだ水族館”へ。見たことのないクラゲの美しさに癒されたり、金魚の鮮やかさに感心したり、元気いっぱい泳ぎ回るペンギンにニンマリしたり…で、あっという間に時間が過ぎました。ついでに、お土産コーナーで家族へのお土産を選ぶのも楽しかったし、一人で観光(?)も悪くないと再確認。またどっか行きたいなあ。★カネコルリ



●オープンスペース ぶんこ広場

日時／7月15日(土) 10:00~15:00

場所／広島文教女子大学2号館 文教ホール
(広島市安佐北区可部東一丁目2-1)

内容／楽しいあそびスペース
おむつ授乳・ねんねスペース
ランチタイム(11:30~12:30)

<お問い合わせ>

広島文教女子大学心理学科 植田研究室まで

TEL: 082-814-2135(内線 339)

<http://www.h-bunkyo.ac.jp/bunko/top.htm>



●中央公園冒険遊び場 もとまち自遊広場

日時／7月9日・23日(日) 10:00~16:00

場所／広島市中央公園芝生広場(広島市中区基町)

内容／遊び場に置いてある、さまざまな材料や道具を使い、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ、自分で考えて遊ぶ、そんな場所です。

<お問い合わせ>

広島市こども未来局こども・家庭支援課

TEL 082-504-2813

<http://boukenasobiba.blog.fc2.com/>



新しいURLに引っ越ししました。

げんき発信隊 <http://days0123.minibird.jp/>